

「コロナ後」の働き方を模索

在宅勤務継続や週休3日制 オンライン営業も

新型コロナウイルスと向き合う「新たな生活様式」を反映した働き方の模索が始まっている。緊急事態宣言の解除後も在宅勤務や時差出勤を続ける企業が多く、一部は週休3日制を導入する。鍵はオンラインの活用で、対面が基本の営業にも広がる。当初は感染防止が目的だったが、仕事の質やコミュニケーションの在り方も変わりそうだ。

コツつかみ成果

「これからは8割を在宅にしたい」と話すのは、NTTデータで人材育成を担当する大山千尋さん(37)。午前7時に始業。子供の宿題や遊びを見守りながら正午まで集中して働き、午後は子供と過ごすのが基本のスタイルだ。「コツをつかんだからは出勤時と変わらない成果が出せるようになった」と実感する。メールやチャットのやりとりを頻繁にするよう心掛けるが「オンラインでは何でもない会話がしにくい」。出勤日は同僚とコミュニケーションをしっかり取りたいという。

NTTデータは緊急事態宣言を受け、原則出社しない対応をとった。6月以降は5割以上の

在宅勤務と時差出勤を継続する方針。人工知能(AI)開発に携わる野村雄司さん(39)は3月、始業を30分遅らせる時差出勤を開始。混雑を回避できて「ストレスは減った」と感じる。今後も週2、3回の在宅勤務と時差出勤を考えている。

経団連は5月14日に公表した感染防止のための指針で、週休3日制やテレワーク、時差出勤など多様な勤務形態を呼び掛けた。緊急対応として導入した企業に、解除後も恒常化するよう促した形だ。

東芝は事務系職場だけでなく工場でも週休3日制を導入する検討を開始。日立製作所や三菱電機も当面5割程度の在宅勤務を続ける方針という。

オンライン営業のシステムを提供する「ベルフェイス」(東京)には問い合わせが急増。創業から4年半で利用企業は首都圏中心の1300社だったが、無償提供を始めた3、4月だけで1万社を超えた。感染が広がった北海道や大阪、兵庫で増えたという。

効率下がった人も

営業資料や名刺はオンライン上で顧客に提供。パソコンのマ

bellface

内木陽美のプロフィール



ベルフェイス株式会社
セールスグループセールsteam
内木 陽美

営業の新たな手法を生み出すbellFaceというサービスの可能性にワクワクして入社を決意しました。インサイドセールスとセールステータで、お客様に成功していただけるよう励ましてまいります！

◎ <https://bell-face.com/>
☎ 03-4400-1826

出身地 群馬県本巣市
生年月日 1996/08/04
血液型 AB型
特技 早起きと寝起きの良さ

ちょっと自慢できること
23歳にして1人接客肉を達成しました！
(もちろんみんなとわいわいも好きですw)



大学の4年生。国語大学で観光の勉強をしていました。うちなータイムに連れて、人を導くことが得意に。



就活時代、まだ20名程度のベルフェイスに一目惚れして入社を決意！



ビールが好きで、世界一美しいなら各県のビールを飲み歩きました。
↑イテオシのギリシャのビール

「ベルフェイス」がオンライン営業で提示する名刺。趣味の写真なども載せ、顧客との話題を広げる (同社提供)

ウスの位置が互いに分かる仕組みで、資料の説明をしやすくした。URLの共有など事前作業が不要なので誰でも簡単に使える。同社は「時間や場所の制約がなくなり、地方の企業もチャ

ンスにできる」と話す。課題もある。「日本生産性本部」の調査では、コロナ収束後もテレワークを続けたい人は6割以上いた。ただ「効率が下がった」と感じる人も同程度い

た。職場の外で閲覧できないデータの共有化や通信環境などの壁を指摘する声も多く、企業は整備への投資に踏み切れるかどうかが問われそうだ。

→関連5面

投資や仕事量見直し必要

日本総研の小島明子スペシャリストの話 オンライン活用で家族と過ごす時間や、兼業や副業に挑戦するチャンスが増え、組織の活性化が期待できる。ただ、現場の工夫や努力だけに頼

ると働き手が疲弊するので、企業側は情報通信技術への投資や仕事量の見直しとセットで進める必要がある。コミュニケーション不足の課題も挙げられており、補完する手だても検討する

べきだ。1人で働く時間が長くなると、仕事上の目標が分かりにくくなり、不安を抱える人が増える恐れがある。企業には、従業員のやる気の維持・向上のため、今後のキャリアをそれぞれに考えてもらう場の提供が求められる。

日本働き方会議を設立

本社など 名誉座長に橋下徹氏

フジサンケイビジネスアイは、システム科学(東京都文京区)と新時代の働く仕組みを提唱、支援するコンソーシアム「日本働き方会議」を設立、会員(法人、個人、自治体、協賛

ほか)の募集を始めた。同会議は、名誉座長に元大阪府知事で弁護士の橋下徹氏(写真)が、代表理事にはシステム科学の石橋博史代表取締役が就く。新型コロナウイルスの感染拡

大でテレワークが急速に活用され始めるなど、企業が働き方を見直す動きが急ピッチで進んでいる。IT化の促進は企業規模を問わず、生き残りに向けた急務の課題だ。

そこで同会議では、ITを活用した「可視化」手法を導入す



ることで業務を効率化し、ホワイトカラーの生産性、マネジメント力を高めるとともに、新たな商品やサービスの開発など付加価値創出を目指していく。「新しい生活様式」時代に対

応し、全国どこからでも受講できる「働き方改革遠隔セミナープログラム」などを用意。今秋には「日本の働き方を問う」をテーマにした橋下氏による大型シンポジウムも計画する。問い合わせはホームページ(https://jwc-kaikaku.jp/)まで。

新型コロナ関連 **2 3 4 5 8 10 16 19 27 28**

高論低説	在宅勤務導入の労働条件変更ルール	古田利雄	2面
INDEX	・就活、大手はウェブで		2面
	・5月の新車販売45%減		3面
	・中西経団連が折り返し		4面
	・パワハラ防止法が施行		4面

『発想力を活かし無限大の可能性へ』

●商業施設 ●ヘルスケア ●繊維・アパレル

ダイトウボウ株式会社
daitobo since 1896
東京都中央区日本橋本町1-6-1
http://www.daitobo.co.jp